

ももちゃんの中北月

側わん症のおはなし



作 郷 芽衣子

画 かわむらいつこ

それは、小学5年生の春でした。

おやっ？

君、背骨が少し
曲がっていますね。

よく見せて

学校の
集団検診
でのこと――

かっぴん……

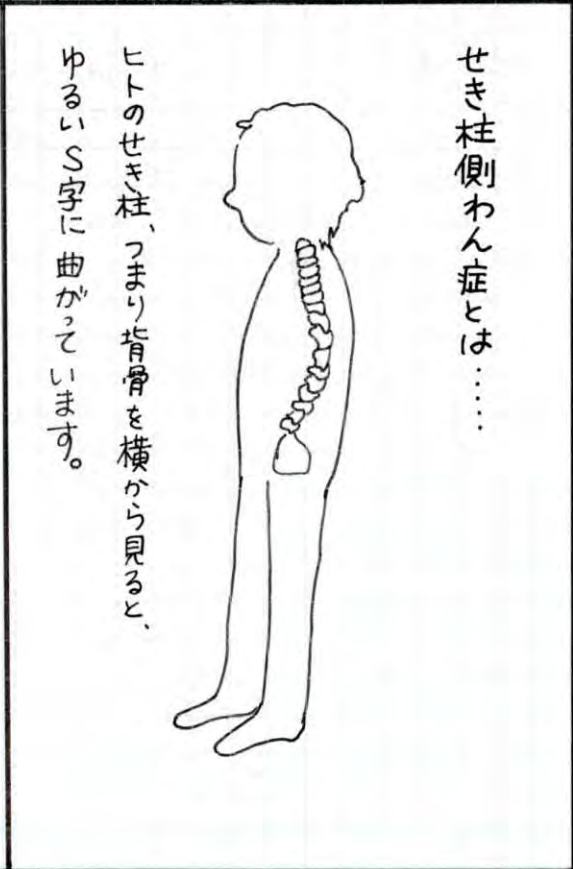
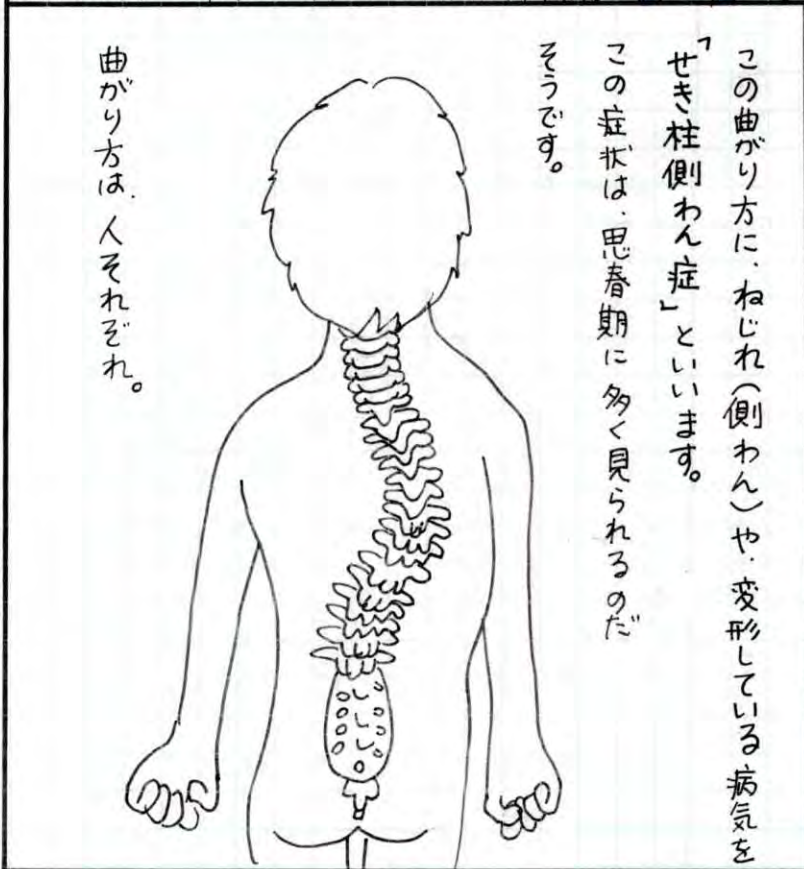
背骨が少し
曲がっています。
ちゃんと病院で
診てもらった方が
いいですね。

私の名前は、野原もも。
小学校の集団検診で、
突然、校医さんから言われ、
私は母と近くの病院へ
詳しく診てもらいに
行きました。

背骨が
曲がってるって
どうしよう
かな……

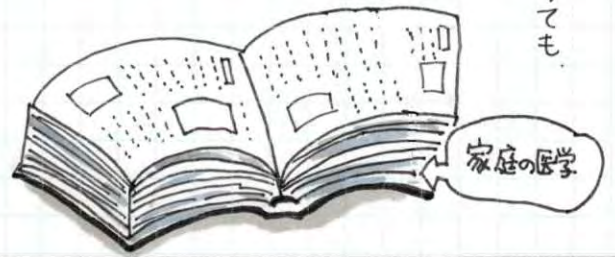
あなたは、いわゆる
せき柱側わん症ですね。
この症状は……

そこで聞いた、初めて耳にする
病名―― とっても不安な私。



ひとくちに、側わん症といっても、その原因はさまざま。100種類以上あるといわれています。

その治療法として一番、有効な方法はこのようにと



器具です。



これを一日中装着して、背骨のゆがみを治していきます。
※ゆがみが強くなってしまう場合は、手術になります。

私の場合、

こんな感じになりました。



思ったより大きい。

家ではなんとか装着できて...



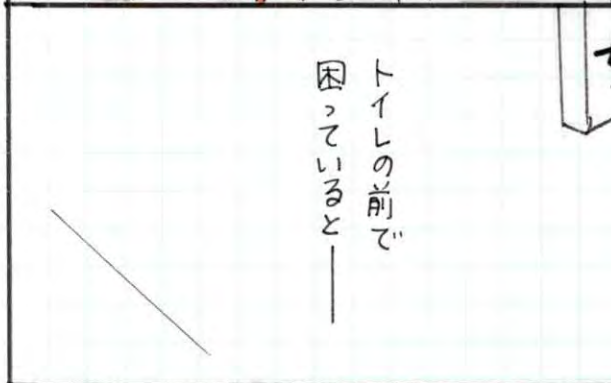
学校では、制服の下に着けるので、大きくて、重くて、動きにくくない!

ふー



お風呂に入る時ははずすからこの解放感がすごい!!





そのクラスメイトは、
トイレの前と後に
装具の付け外しを
手伝ってくれました。

重かったやろ...

そっつと
外すね...

やさしいな
手助けが、
ものすごく
うれしかった。

じーん

あいがと

体育の授業でも、
装具を外すので、

かわいい巾着袋を
作ってもらって持ち運び。

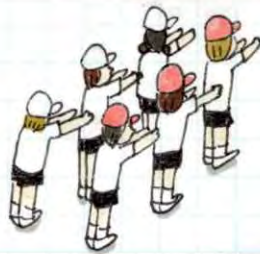


ささーっと
急ぎないと

あ、
ほ、

だめだったけど、

特に
問題もな
過ぎて
いき
ました。



装具を付けての生活は、
慣れるまでは、
夜中に起きたりも
したけれど、

いつしか慣れて
ぐっすり眠れる
ようになりました。



おそれない...

ガバッ



とにかく、
毎日、まじめに
きちんとして
装着していました。



でも時々、

もうイヤ!



重いよ!

えらいよ!

しんどいよ!

さぼりたくなる!!

※旅行に行く時は、病院の先生に相談して、外していました

その頃の私の夢は——

かるい!!

付けてもわかんない!!



装具がもっと薄っぺらで

軽くなくてほしいなあ...とか、

...でね、そしたらね

そうそう、私も。



私と同じように、

装具を付けている子と友達になりたいなあ...というものでした。

どちらもかなわない夢...と

あきらめかけていた私に

ついに、装具を卒業する日がやってきました。

もう大丈夫です。

明日から

外してもいいですよ。

やったあ~!!



本当に

夢のよう...

高校生になって、
将来、何になるかを
決める時――



私は迷わず、

自分の経験を
生かして、

「人の役に立ちたい！」

と、思うように
なりました。

父に買ってもらった本から、

よし！
これだ！！

「リハビリ」という
仕事があることを
知った私は……



一生懸命勉強しました。

大学にすすんでからも、

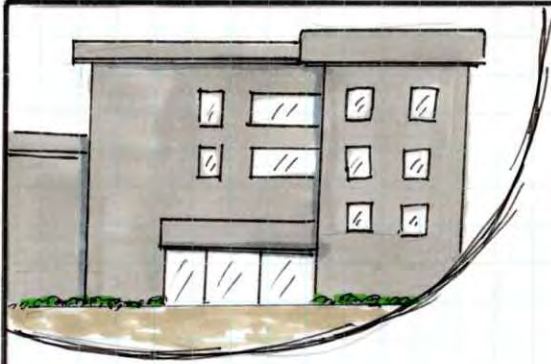
「リハビリ」について学びました。



今、私は「理学療法士」という
リハビリの仕事に就いています。
この仕事をはじめてから
もう10年以上が経ちました。

そうそう、
ゆっくりね！





私の働いている病院には、「側わん症」の専門のドクターがいます。患者さんが、全国から診察を受けに来られます。



だそうです。

ように…

患者さんが
恐がらない

瀬本ドクターは
白衣を着ていません。
私服です。

瀬本ドクターです。

側わん症の専門医、



本当に優しい
先生です。

どれどれ
よく見せて。
肩の力を抜いて
楽にして
いいんだよ。

しっかりと、患者さんの目を見て
手を当てて、丁寧に診察されます。

瀬本ドクターはおっしゃいます。

側わん症の治療は

早期に発見し、

適切に治療すれば

手術に至ることが少ないです。



身体に合った

器具を付けて

適度な体操をしな

ゆっくり

治していきましょう。

側わん症は、

思春期に多い病気です。

人目を気にして

器具を付けたまま

学校に行けない子どもの

ために、



一夜だけ付ける

『夜間器具』というの

開発されました。

実際に多くの方が

使われています。

私も小学生の時に
出会ったかったな...



”あせらず、迷わず、あきらめず”

これは瀬本ドクターが大切にされている
言葉です。

いつも、こう言いながら、

子ども達を励まして

下さっています。



病気が受け止められずに

泣いてしまっている子。

あっけらかんとして、さほど気にしていない子。

いろんな子ども達が

この病院にやってきました。

何年も経ってから
会いに来てくれる
子ども達も
います。

先生ー!

おう?
来たか!

手術を受けて
理学療法士に
なった方にも
何人か出会いました。

今、私はリハビリの仕事を通して
側弯症の子ども達に
体操をお伝えしています。

背骨が柔らかくなると、
器具がよく効いたり、
背骨の周りや、お腹の筋肉を鍛えれば、
背骨がまっすぐ支えられるのでは……
と考えています。

1. 2.
サンシ
5. 6...



また、
同じ病気の子ども同士
仲間づくりができたら……と、
夏休みや冬休みを利用して
側弯ンスクールも開催しています。

ふりがえて、今、私が思うことは
病気になっても、悪いことばかりじゃないってこと。
困っている人の気持ちがあかるようになって、
本当によかったと思っています。

私の子ども時代のように、
悩んでいる人がいるとしたら……
どうか、一度病院に来て下さい!
そして、
みんなで一緒にがんばりましょう!

一人で
悩まないで!

